

2026年3月23日
出光音楽賞実行委員会
出光興産株式会社
株式会社テレビ朝日

第35回出光音楽賞 受賞者決定

出光音楽賞実行委員会*（理事長：木藤 俊一）は、第35回「出光音楽賞」の受賞者を以下の3人に決定しました。受賞者には賞金300万円を贈呈します。

今後、授賞式と受賞者による「出光音楽賞受賞者ガラコンサート」（日時・会場未定）を開催し、その模様はテレビ朝日系「題名のない音楽会」で放送予定です。コンサートの詳細については、決定次第お知らせします。

「[出光音楽賞](#)」は、1964年に放送を開始した「題名のない音楽会」の25周年を記念し1990年に創設された、出光興産株式会社が主催する音楽賞です。主にクラシックの音楽活動を対象に、意欲・素質・将来性などに重きを置き、若手かつ新進気鋭の音楽家を表彰しています。今後も本音楽賞を通じて将来有望な音楽家を支援します。

■受賞者と選考理由（五十音順／敬称略、年齢は2025年12月31日現在）

谷口 朱佳 （たにぐち あやか） ヴィオラ／23歳	理想的なテクニックに裏打ちされた、稀に見る美しい音色の持ち主。声楽的なアプローチで奏でられる音は、人の声のように響く。ヴィオラ奏者として特筆すべき華やかさを持っている。
久末 航 （ひさすえ わたる） ピアノ／31歳	ブラームス「ピアノ協奏曲第2番」において、豊かな音楽性と雄大さを示した。まるでドイツ語で語るかのような語感を持つ音楽を構築した。室内楽の分野においても着実な成果を上げている。
山下 愛陽 （やました かなひ） ギター／28歳	客席の空気を掌握するほどのオーラを備える。完璧ともいえる技巧を有しながら、それを前面に出すことなく昇華し、奥行きのある音楽を作り上げている。さらに優れた編曲力を併せ持つ。

※出光音楽賞実行委員会

出光興産株式会社、株式会社テレビ朝日、専門家で構成された若手音楽家を支援するための組織。

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html

■受賞者プロフィール（五十音順／敬称略、年齢は2025年12月31日現在）

谷口 朱佳（たにぐち あやか） ヴィオラ／23歳



2002年9月15日生まれ、東京都大田区出身。

2021年より東京藝術大学にて川崎和憲、恵谷真紀子に師事。2023年10月から現在までドイツのフランクフルト音楽・舞台芸術大学にてタベア・ツィンマーマンに師事。これまでグシュタード弦楽アカデミー、キジアーナ音楽院、ラヴェル・アカデミー、ヴィオラ・アカデミー・イン・ジャパン等で学ぶ。

2019年第74回TIAA新人演奏会オーディション優秀新人賞および第75回TIAA全日本クラシック音楽コンサート優秀賞。2024年オスカル・ネドバル国際ヴィオラコンクール第4位。2025年ヒンデミット国際ヴィオラコンクール第1位および聴衆賞、ヒンデミット財団賞受賞。2025年ジュネーヴ国際音楽コンクール第2位およびエトリヤール財団賞、ヒンデミット賞、オデッセイ・フランク・マルタン賞、ローズ＝マリー・ユージェニン賞を併せて受賞。

ソリストとして、バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーを演奏。オーケストラとの共演は2023年佐渡裕指揮/兵庫芸術文化センター管弦楽団、2024年バロッコ・センブレ・ジョーヴァネ、2025年ジュゼッペ・モンテザーノ/ミュンヘン音楽・演劇大学管弦楽団、コルネリウス・マイスター指揮/スイス・ロマンド管弦楽団があり、今後は2026年4月バイエルン放送室内楽管弦楽団、6月ジュネーヴ室内管弦楽団等と共演予定。

室内楽にも精力的に取り組み、ラヴェル音楽祭、フリースン国際室内楽音楽祭、パブロ・カザルス音楽祭、ラインガウ音楽祭等に参加。2024年レンツェフスキ室内楽コンクールにて第1位、2025年ポリテクニク協会室内楽賞にて第2位受賞。今後は2026年8月イタリア・シエナのキジアーナ音楽院音楽祭室内楽コンサート、11月ヒンデミット財団主催ヒンデミット・ターゲコンサート等に出演予定。

2024年10月より、ヴィラ・ムジカ財団奨学生、公益財団法人野村財団奨学生。2026年よりモーツァルト協会のソリスト育成奨学生。

久末 航 (ひさすえ わたる) ピアノ / 31 歳



1994 年 8 月 19 日生まれ、滋賀県大津市出身。

2025 年、世界三大コンクールのひとつ、エリザベート王妃国際音楽コンクールで日本人史上最高位の第 2 位受賞。国際的に大きな話題を集めた。2017 年には ARD ミュンヘン国際音楽コンクールで第 3 位および委嘱作品特別賞を受賞。その他、リヨン国際ピアノコンクール第 1 位および聴衆賞、2009 年度青山音楽賞新人賞、2019 年度青山音楽賞バロックザール賞、2024 年度青山音楽賞青山賞受賞。2024 年に行われた第 16 回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクールでは、審査員によって授与される 2 つの特別賞(ベートーヴェン賞およびリスト・バルトーク賞)受賞。

これまで、Audi Summer Music Day、ヴェルツブルク・モーツァルト音楽祭ほか、数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、アントワープ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、東京都交響楽団などと共演。2021 年、CD「ザ・リサイタル」をリリース、「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。2025 年 10 月には、ドイツのレーベル GENUIN classics からデュサパン作品集「Did it again」をリリースし、「レコード芸術 ONLINE」で特選盤に選ばれる。

平成 25 年度平和堂財団芸術奨励賞音楽部門、令和 7 年度滋賀県文化賞ならびに大津市文化特別賞受賞。

辰巳晴生、辰巳美行、村上久仁子、田隅靖子、G.ミシヨリ、E.シュトロッセ、P.ドゥヴァイヨン、K.ヘルヴィヒ各氏の指導を受け、フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学をそれぞれ最優秀の成績をもって修了。現在はベルリンを拠点に活動している。

山下 愛陽 (やました かなひ) ギター / 28 歳



1997 年 3 月 16 日生まれ、長崎県長崎市出身。

幼少よりギタリストの父・山下和仁、作曲家の母・藤家溪子のもとで音楽を学び、「山下和仁ファミリークインテット」の一員として、のちに父とのデュオでもアジア・欧米諸国で公演を重ねる。13 歳でイタリア・トリノにてソロデビュー。2015 年に渡独し、ベルリン芸術大学ギター科学士・修士課程を修了。現在、ニュルンベルク音楽大学国家演奏家資格課程に在籍。T.ミュラー＝ペリング、C.ドメニコニ、B.コレルに師事。

2015 年以降はベルリンを拠点に、欧州各国をはじめ、アメリカ、メキシコ、中国、オーストラリアなど世界各地の音楽祭にソリストとして招かれ、国際的に高い評価を得ている。2018 年にはベルリン・コンツェルトハウスにて演奏。国内では 2024 年の初ソロツアー以降、全国各地で公演、「新時代の名手」(毎日クラシックナビ)と評されるなど、注目を集めている。東京都交響楽団(藤岡幸夫指揮)、日本フィルハーモニー交響楽団(大井駿指揮)と共演し、2026 年には初のアメリカツアーも予定。

室内楽奏者としても精力的に活動し、近年は編曲にも注力。2025 年、フルートとのデュオでゲルハルト・フォークト室内楽国際コンクール第 1 位を受賞し、特にバッハのフルート・ソナタの自編が高く評価された。2026 年にはヴァイオリニスト金川真弓と結成した Duo Lotos としてコロンビア・ツアーを予定。

2021 年に C.ドメニコニのギター作品集 CD をリリース。2023 年にバイエルン放送「On Stage」、2024 年に NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演。2017 年 ARD ミュンヘン国際音楽コンクール・セミファイナリスト、2019 年ドイツギター賞、2021 年イーザーローン国際ギターコンクール第 2 位など受賞多数。2016～2018 年度ヤマハ音楽支援制度音楽奨学支援奨学生、2020・2021 年度公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション奨学生。2021 年より D'Addario アーティスト。